

# 大阪府立大学士業の会通信

平成 26 年 9 月号

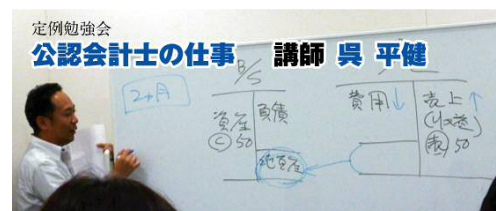
## 定例勉強会の報告

### 「公認会計士の仕事内容」

講師 公認会計士・税理士 吳平健氏

平成 26 年 9 月 18 日（木）大阪府立大学 i-site なんばにて開催しました。

公認会計士の仕事内容というタイトルにて、文字通り公認会計士の様々な仕事内容や公認会計士の試験制度、さらに上場基準に関する講義を、自らの経験談を交えながら終始楽しくお話し頂きました。



### 主たる業務である監査証明

監査証明とは、企業、学校法人、地方公共団体などを対象に、財務情報の適正性につき意見を表明し、その信頼性を保証するものです。

ですが、監査は信頼性を保証するためのものとはいえ、企業等が自主的にその監査証明を公認会計士に依頼するというのはなかなか期待しにくいものです。そこで、ある一定の状態や規模にある者は、法律で監査を受けるように規定され、義務つけられています。それを法定監査と呼びます。

法定監査の中でも多いのが、「金融商品取引法に基づく監査」、「会社法に基づく監査」のようです。前者は、上場会社またはこれから上場しようとする会社が受けなければならないもの、後者は規模の大きな大会社が受けなければならないものです。

### 監査手続

講義の中でお聞きした不正会計を見破るひとつの手は、売上高と売掛金を見比べるというものです。売上げが 100 億円の企業に、売掛金が 200 億円計上されているというような場合、これは不自然であると…。この企業の主張は、機材出荷の時点で売上げを計上しており、その回収は取引先でいろいろ導入作業をした 2 年後である為とのことだが、吳氏いわく、売上げを計上するのは、取引先でチェックやバグ作業がすべて終わった後というのが常識！とのこと。

### 講義を受けて

その他、税務やコンサルティングといった業務をとおし、ただ不備不正を正すといった作業で終わるのではなく、その企業独自のリスクを事前に洗い出し、会計士の独立性を保ちつつ、企業に喜ばれる会計士でありたいという思いが伝わってきました。

（文：福井孝博）



# 会員の紹介

## 森貞好昭 弁理士

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-12-12

東京建物梅田ビル5F 海星特許事務所

TEL : 06-6451-8555 FAX : 06-6451-8566

第7回目は弁理士である森貞会員の事務所を訪問し、お話をお聞きして参りました。

### Q. 府大の学生時代の思い出は？

学生時代は、ラグビーの練習とウエイトトレーニングに明け暮れていました。入学当時、府大のラグビー部は関西リーグのD3リーグに属していましたが、同期のメンバーにも恵まれ、最終的にはBリーグへの入替戦に出場するまでになりました。



### Q. この仕事を目指したきっかけは？

三菱電機に入社し、以前から興味があった宇宙開発に関連する部署に配属されたものの、直ぐに約10年間の海外勤務を命じられてしまいました。悩んだ末、研究者として研鑽を積みたいという気持ちもありましたので、退職して工学博士号を取得する決心をしました。その際、3年間学生をするのであれば弁理士資格にもチャレンジしようと思い、博士号と弁理士資格をほぼ同時に取得しました。

### Q. 具体的にはどのようなお仕事をされているのですか？

やはり一番多いのは特許出願に関する依頼です。ユニークなものとしては、研究開発のアドバイザーとして企業に参画し、得られた結果を基に特許化を目指す活動や、「物づくり」に係る補助金申請書作成のサポート等があります。また、研究職を続けていることもあり、大学関係者からの依頼を受けることも多いです。

### Q. 仕事のやりがいを感じるのはどんな時ですか？

大学における研究教育活動で得た知見を活用して、クライアントの想像を超える権利（特許権等）を取得できた時です。

### Q. 大阪大学での教員も勤められているとの事ですが、苦勞されることはありませんか？

やはり何より時間の問題が大きく、スケジュールの工面が大変です。それでも、むしろ「先端技術に関する知見を収集できると共に研究者の感性を維持できる」というメリットの方が大きいと感じています。

### Q. 今後目指す目標や夢はありますか？

知的創造サイクルに対するサポートは、各段階（研究開発、製品・特許化、マーケティング・販売、資金調達等）にそれぞれ専門家がいますが、これらを総合的にサポートできる人材はなかなかいません。将来的には、知的創造サイクルを総合的に俯瞰してサポートできる存在となり、技術立国日本の発展に少しでも貢献できればと思っています。また、現在ベンチャー企業数社の技術顧問を務めており、その中の一社で自分の発明を活用するビジネスが進んでいますので、今後の展開が楽しみです。

【お話をお伺いして】研究者と弁理士を両立されている方は、日本では稀有な存在だとお聞きしました。その両立は双方向にメリットがあるという点、とても納得しました。ただ、ここに至るまでの過程において、自分自身に負荷を掛け続け、それらをきちんと乗り越えていくパワフルさとストイックさがあるの事だという事も伺い知れ、ただただ感服するばかりでした。（取材 藤田正人）

# 外部勉強会&ビアガーデンの集い

平成26年7月9日（水）、当会としては初の試みとなります同日二部構成の企画を行いました。

まず第一部は、外部勉強会として、堺筋本町の大阪産業創造館の地下1階にあります「大阪企業家ミュージアム」に6名（うち会員5名）で見学に行ってきました。担当の方に案内され説明を受けながら約1時間強、多少駆け足気味ながらも、とても見応えがありました。

大阪という街の活力ある歴史を感じつつ、「商売」＝「社会の役に立つこと」というその原点を改めて学び直すことが出来ました。個人的にまたゆっくり見に行きたいと思っております。



第二部は堺筋本町から場所を移し、なんばタカシマヤの屋上ビアガーデン「キラリヤ」で懇親会を行いました。

こちらから参加された方々と合流し、今年は昨年より10名も多い22名（うち会員10名）での懇親会となりました。

今年も会員だけに留まらず、会員家族や職員、クライアント先、新入会員希望者、また土業ではないが府大出身の方などが集まり、また新たな出会いとなりました。

途中小雨が降りましたが、かえって夏の夜風が心地良くなり、美味しいビールと食事で、とても和やかな雰囲気が生まれました。



今年ももはや恒例となったビンゴ大会を行い、賞品は6億円！（が当たるかもしれない宝くじ）などが用意され、そちらはそちらで、一気に気温が上がった様を感じる程、白熱したゲームとなりました（あまりにビンゴの当選者がなかなか出ず、やきもきしました）。



二年連続幹事を務めさせて頂きましたが、来年も是非、誰一人欠ける事なく、また新たに参加される方も迎え入れて、有意義な時間となるような企画として開催出来ればと思っております。

（文：藤田正人）



## 今後の予定

11月4日（水）白鷺祭 士業の会個別相談会  
会場：大阪府立大学

12月未定 定例勉強会  
会場：i-site なんば



## 会員の動き

### 新入会員のご紹介

税理士 清水 由美子会員 Shimizu yumiko

7月に士業の会に入会させて頂きました清水です。

経済学部卒業後、住商オートリース株式会社において自動車リースの営業を行っていました。その営業の中で、企業ともっと密接な関係を築ける仕事がしたいという思いから税理士を目指し、2014年に税理士登録しました。法人、個人の申告書作成だけではなく、経営計画・実行・検証・改善のサイクルをお客様に推奨し、顧問先様の成長をサポートしています。これからどうぞ宜しくお願いします!!

## MLをご活用下さい！

会員間における一斉連絡手段として、メーリングリストを利用しております。こちらについては、会からの一方的な連絡手段としてだけでなく、会員自身の業務における質問や困りごとなどあれば、積極的にメーリングリストで投げかけるなど、どんどんご活用下さい。また譲ってもいい本や備品などの情報もありましたら、メーリングリストにてお知らせください。



## 編集後記

白鷺祭の準備で、現役府大生と出展や広告のやり取りをしておりますと、自分自身の大学時代を振り返り、あの頃は時間ばかりは沢山あったのに何もしてなかったなと少しアンニュイな気分になりますが、それはそれで現在の自分に到っているかとも思うと、まだまだこれから何でも出来る気がしてきました！

（編集：藤田正人）